

定住自立圏共生ビジョン 事業一覧

令和4年度事業落着
令和5年度事業当初計画

(単位：千円)

令和4年度事業 落着 合計	総額		一般財源		特定財源等		令和5年度事業 当初予算 合計	総額		一般財源		特定財源等	
	64,979		33,795		31,184			83,401		68,156		15,245	
(館山市)	49,073		23,802		25,271		(館山市)	48,559		41,784		6,775	
(南房総市)	15,906		9,993		5,913		(南房総市)	34,842		26,372		8,470	

《 1 生活機能の強化に係る政策分野 》

No.	共生ビジョン事業名	両市で行う取組	費用負担	令和4年度 単年度事業内容（実施）	令和4年度 単年度事業費（千円）						令和5年度 単年度事業費（千円）					
					総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市
1	医療体制の維持及び医療人材の確保事業	小児科医や看護師等の医療人材が不足する中、圏域内の医療体制の維持・充実を図るため、安房医師会と連携し、医療人材の育成・確保を進めるとともに、周産期及び小児科の医療体制など、地域医療の調査・研究に取り組む。	必要な経費については両市で協議を行い、費用負担を決定する。	域内の病院及び有床診療所に対する看護師等充足状況調査の実施に向けた協議を行った。なお、調査は令和5年6月上旬に実施を予定する。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	引き続き、地域医療の調査・研究に取り組む。	0	0 0	0	0 0	0
2	支援対象児童等見守り強化事業	要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子ども等の居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援等を通じて子どもの見守りを行う。 <実施事業> ・児童の状況把握 ・食事の提供（子ども食堂、配食サービス） ・生活習慣の習得支援や生活指導 ・学習習慣の定着等の学習支援	両市共に国庫補助金を活用し、それぞれが負担する。	要保護児童対策地域協議会を中心に把握する支援ニーズの高い児童を対象に、以下の4事業を実施し、児童の見守り強化を図った。 ・弁当宅配業務 ・子ども食堂業務 ・集合型学習支援業務 ・個別型学習支援業務	10,169	4,446 5,723	3,391	1,483 1,908	6,778	2,963 3,815	引き続き、『両市で行う取組』に記す事業を共同で実施する。	20,260	9,000 11,260	5,065	2,250 2,815	6,750 8,445
3	介護人材確保に向けた普及啓発事業	介護に関する入門的研修の合同開催。 介護の仕事の魅力発信・普及啓発。 ・中学・高校等への出前講座の実施 ・市役所や商業施設等での介護現場のパネル展示 ・介護事業者主体の啓発事業への支援・連携活動	契約・支出等は館山市が主に担い（一旦全額負担）、南房総市は総事業費（一般財源分）の半額を負担金として館山市に支払う。	南房総市で開催された介護の入門的研修（県委託事業）について、広報やLINEで周知を実施した。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	・入門的研修の開催支援を継続する ・事業者団体が行う啓発事業への支援 ・出前講座の実施	100	50 50	50	25 25	25 25
4	地域密着型サービス等の適正化に関する共同処理事業	・地域密着型サービスの相互利用に関する協定締結 ・事業所指導や給付適正化に関する共同研究・共同実施	基本的には費用はかからないが、需用費等少額の経費については、原則館山市負担とする。その他の高額費用が発生する場合は、都度協議とする。	地域密着型サービスの相互利用について協定内容を検討するとともに、館山市地域包括支援センター運営協議会（地域密着型サービス運営委員会）において、令和5年度以降に協定を締結することについて了承を得た。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	・地域密着型サービスの相互利用に関する協定の締結 ・集団指導の共同実施について、令和6年度以降の実施に向けて担当者レベルで協議を行う。	0	0 0	0	0 0	0 0
5	有害鳥獣被害防止技術向上事業	農作物に大きな被害を及ぼし、両市において農業振興の障害となっている有害鳥獣の被害防止対策について、捕獲、防獣及び環境整備の面で両市及び両市の有害鳥獣対策協議会で連携して講習会等を開催し、被害防止技術の向上を図る。	基本的には両市の捕獲従事者を中心とした市民を対象に講習会等を実施することから費用負担は折半とし、協議会へ負担する。	令和4年度は事業実施の調整がつかず次年度から開始することとした。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	両市の捕獲従事者を対象とした捕獲技術向上研修の実施を予定。 年度当初より、実施会場、内容等について検討を開始する。	200	100 100	200	100 100	0 0
6	中小企業支援事業	市内中小企業、個人事業主を支援するため、新商品開発、販路拡大、起業支援等を一括してアドバイスできる総合窓口を開設する。 各関係機関の専門員や、地元の起業家等を相談員として招き、市内中小企業の課題や悩み等のアドバイスを行う。	館山市と南房総市で交互に窓口を開設するため、基本的には折半とする。	千葉県よろず支援拠点から相談対応コーディネーターを派遣いただき、令和5年1月から、毎月第4水曜日に、館山市と南房総市で交互に相談窓口を開設している。 【実績】相談件数 R5.1.25 館山市開催 0件 R5.2.22 南房総市開催 4件 R5.3.22 館山市開催 2件	1,200	600 600	1,200	600 600	0	0 0	中小企業支援総合窓口を月1回交互に開設し、販路拡大や起業・創業支援等のアドバイスを行う。	0	0 0	0	0 0	0 0

《 1 生活機能の強化に係る政策分野 》

《 1 生活機能の強化に係る政策分野 》				令和4年度						令和5年度							
No.	共生ビジョン事業名	両市で行う取組	費用負担	単年度事業内容（実施）	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	単年度事業内容（当初）	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市
7	データに基づく 戦略的観光 プロモーション	両市の観光協会が共同で実施する次の事業に補助金を交付する。 ①研究・リサーチ、②情報発信、③ブランディング、 ④観光コンテンツ造成、⑤顧客管理等推進、⑥プロモーション、⑦イベントの実施（(例)道の駅を活用した「海」「花」「食」をテーマとする「食の祭典」） ＜実施スケジュール＞ ①～⑥：毎年度（⑥について、初年度は温泉等の現段階で共有できるコンテンツ、次年度以降は①から⑤の結果により実施） ⑦：R6・7年度	特別交付税措置の費用負担割合（8：2）	・観光カリスマ山田桂一郎氏による「地域経営と観光地」をテーマとしたセミナー及び勉強会を3回実施。 ・観光資源調査や観光動態調査などによるデータ分析を実施。 ・温泉・ナイトタイムエコノミー・ダイヤモンド富士・いちご・ベクト可施設などの両市が共有する観光コンテンツを活用した観光プロモーションを実施。両市の合同パンフレットも作成した。 ・地域住民へ両市の観光への取組みを周知するため、地域情報誌等へ掲載した。 ・LINE合同アカウントを作成し、顧客管理及び共有する観光コンテンツの情報発信を実施した。	12,426	9,941 2,485	12,426	9,941 2,485	0	0 0	・「観光地経営」「地域経営」の地域認識を向上させるセミナーの開催及び勉強会を実施予定。 ・観光動態調査の実施や宿泊データ分析システムを導入予定。 ・温泉・ナイトタイムエコノミー・ダイヤモンド富士・いちごなどのほか、各種調査結果に基づく観光コンテンツを活用した観光プロモーションを実施予定。 ・LINEの活用による顧客管理及び情報発信を実施。	18,000	14,400 3,600	18,000	14,400 3,600	0	0 0
8	地球温暖化防止 対策事業	脱炭素へ向けた取組を推進するため、ゼロカーボンシティ宣言を表明した両市で連携し普及啓発を行うほか、グリーンカーボンやブルーカーボンなど海や山に囲まれた両市の地域性を活かした取組を進める。	普及啓発活動に必要な経費については両市で協議を行い、費用負担を決定する。	令和5年度に「脱炭素化促進カレンダー」を作成することで両市合意。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	南房総市における「エコライフ★カレンダー」を参考とし、脱炭素促進をテーマとするカレンダーを作成する。	803	402 401	803	402 401	0	0 0
9	生涯学習活動振興 連携事業	国から史跡指定を受けた里見氏城跡 稲村城跡 岡本城跡について両市で連携してポスターやHP等により情報発信を行う。 館山市図書館と南房総市図書館が連携し、各市で所有する資料の相互利用を行う。	ポスターの枚数や資料貸出件数による按分とする。	稲村城跡及び岡本城跡についての具体的な連携事業は実施しなかったが、お互いの会議に職員を派遣するなど、情報共有に努めた。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	国から史跡指定を受けた里見氏城跡 稲村城跡 岡本城跡について両市で連携してポスターやHP等により情報発信を行う。 館山市図書館と南房総市図書館が連携し、各市で所有する資料の相互利用を行う。	0	0 0	0	0 0	0	0 0
10	社会体育施設 連携事業	館山市と南房総市の社会体育施設を連携、相互利用を促進することにより、利用者の利便性向上及び施設利用の合理化を図るもの。	施設維持管理費については、施設設置自治体の負担とする。 その他の経費については、両市で協議を行う。	今後、両市で協議を進めていくことを確認した。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	引き続き、施設使用料の市外料金について、館山市と南房総市それぞれの利用者の使用料を市内料金に統一化することを検討する。	0	0 0	0	0 0	0	0 0
11	学校の魅力向上推進事業	圏域内に位置する学校との連携を強化し、「地域内外から選ばれる学校」になるための環境整備を働きかける。 ①高校の学区を超えた受験を可能とする規制緩和を目指す。 ②高校の入学者の確保に向け、遠方の志願者が入学後に滞在できる寮等の下宿先の確保を目指す。 ③中高一貫校の設立の可能性を検討する。	意見交換会に関する費用等、圏域全体の学校に関する内容については基本的に館山市が負担する。	意見交換会を実施。両市内にある7つの高校等の校長や市担当者、地域振興事務所、日本政策金融公庫と、「高校の魅力化」や「選ばれる高校になるには」などのテーマで意見交換を実施	0	0 0	0	0 0	0	0 0	引き続き、 ・高校の学区を超えた受験を可能とする規制緩和を目指す。 ・高校の入学者の確保に向け、遠方の志願者が入学後に滞在できる寮等の下宿先の確保を目指す。 ・中高一貫校の設立の可能性を検討する。 以上の実現に向けて検討を進める。	0	0 0	0	0 0	0	0 0
				小 計	23,795		17,017		6,778		小 計	39,363		24,118		15,245	
事業1～11				（館山市）	14,987		12,024		2,963		（館山市）	23,952		17,177		6,775	
				（南房総市）	8,808		4,993		3,815		（南房総市）	15,411		6,941		8,470	

《 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 》

				令和4年度	単年度事業費（千円）						令和5年度	単年度事業費（千円）					
No	共生ビジョン事業名	両市で行う取組	費用負担	単年度事業内容	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	単年度事業内容（当初）	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市
12	南房総・館山地域 公共交通活性化推進事業	生活圏をともにする2市において、公共交通ネットワークの維持確保・利便性向上に係る取組を推進するため、「2市にまたがる幹線系統の維持」「公共交通空白地対策」「館山市街地の回遊性向上」「新たな交通システムの検討」「観光二次交通の充実」等を軸とした事業を展開する。	南房総・館山地域公共交通活性化協議会における実証運行事業については5：5、協議会運営費については8：2で負担する。 館山市が実施する市街地循環バスについては、全額館山市が負担する。	・館山市街地循環バス ・九重・三芳地区デマンドタクシー ・豊房神余・神戸地区買い物シャトル 以上の実証運行を行い、本格運行に向けた検証を行い、館山市街地循環バスについて、本格運行に切り替えることとした。 また、交通事業者への助成等を行った。	35,749	28,651 7,098	13,593	8,593 5,000	22,156	20,058 2,098	引き続き、公共交通活性化協議会を組織し、公共交通の維持・利用増に向けた施策を図る。 ・館山市街地循環バスは、一定の需要が確認できたため、令和5年6月から本格運行に切り替える。 ・三芳地区（路線バス平群線運行エリア）を中心としたデマンド交通「チョイソコ南房総・館山」については、実証開始前の平群線（三芳病院～平群車庫間）と同程度の利用が見られ、定着してきたと考えられることから、令和5年10月からの本格化を目指し準備を進める。 ・豊房地区を中心とした買い物シャトルサービスについては、利用者ニーズとの乖離が見られ、改善の余地があることから、実証を継続し、別形態への転換も含め、運行方法の検証、ニーズの確認を行う。	35,015	17,678 17,337	35,015	17,678 17,337	0	0 0
13	移住定住・就業促進事業	両市の行政機関とNPO法人及び関連機関等によるネットワーク（推進体制）を構築し、両市の移住・定住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）に関する情報の一元化や相談窓口のワンストップ化を図る。 また、定期的な意見交換・情報交換の機会を設け、圏域全体で移住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）を促進するとともに、定住に向けたフォローアップを行う。	特別交付税措置額をベースとした費用負担割合（8：2）とし、館山市が一時的に全額を支出し、南房総市は後日、館山市に対して応分の負担金を支出する。	・両市及びNPO法人おせっ会が連携して移住相談に対応するとともに、おせっ会YouTubeチャンネルで両市の企業情報を紹介した。 ・9月25日に東京国際フォーラムで開催された「ふるさと回帰フェア」に両市で参加し、移住相談対応を実施した。 ・ふるさと回帰支援センター（有楽町）セミナールームを活用し、11月2日に両市共同で移住・定住に係るコラボセミナー、相談会を実施した。	4,500	4,500 0	2,250	2,250 0	2,250	2,250 0	・両市及びNPO法人おせっ会が連携して移住相談に対応するとともに、おせっ会YouTubeチャンネルで両市の企業情報を紹介する。 ・ふるさと回帰支援センターセミナールームを活用し、館山市・南房総市共同で移住・定住に係るコラボセミナー、相談会を実施する。 ・館山市・南房総市共同でイベント（婚活、現地講座など）を実施する。	6,500	5,200 1,300	6,500	5,200 1,300	0	0 0
14	館山市・南房総市 共通返礼品の 企画・開発とPR	現在、「共通のふるさと納税返礼品に関する自治体間連携協定」に基づき両市ですすめている、共通のふるさと納税返礼品の企画・開発、PRの取組を実施する。	事業費は「ふるさと納税の返礼品調達経費」となり、総務省の基準（寄附額の5割以下）の適用を受ける。宣伝広告など実施する場合、市によって状況異なるため、細かい調整が必要となる。当面は予算不要の取組を中心に行うこととする。	共通返礼品の開発を行った。 ・無添加びわジャム（館山市3号該当） ・館山・南房総親孝行タクシー券2種（共通） ・館山・南房総観光タクシー券（共通）	0	0 0	0	0 0	0	0 0	引き続き検討を行い、共通返礼品の開発等を行う。	0	0 0	0	0 0	0	0 0
				（落着見込）小 計	40,249		15,843		24,406		（当初予算）小計	41,515		41,515		0	
事業12～14				（館山市）	33,151		10,843		22,308		（館山市）	22,878		22,878			0
				（南房総市）	7,098		5,000		2,098		（南房総市）	18,637		18,637			0

《 3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 》

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 》				令和 4 年度		単年度事業費（千円）					令和 5 年度		単年度事業費（千円）				
No	共生ビジョン事業名	両市で行う取組	費用負担	単年度事業内容	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市	単年度事業内容（当初）	総額	館山市 南房総市	一般財源	館山市 南房総市	特定財源等	館山市 南房総市
15	職員の資質等向上事業	①外部専門家による研修の合同実施 ②両市職員間の情報交換等の活性化	合同研修については、参加人数による按分とし、円未満の端数が生じた場合は按分後の額が低い市が負担する。	令和 5 年度実施に向けた研修内容のすり合わせ及び予算見積書聴取	0	0 0	0	0 0	0	0 0	合同研修の開催	386	193 193	386	193 193	0	0 0
16	外部専門人材活用事業	館山市・南房総市の魅力向上・魅力発信のアドバイザーとして参与を委嘱し、地方創生施策を推進する。	館山市が委嘱する参与であるため、館山市が負担する。	次年度以降、共同で取組む内容を検討した。	935	935 0	935	935 0	0	0 0	2 市のシティプロモーションに関する助言を受けるため、講師や相談を依頼する。	935	935 0	935	935 0	0	0 0
17	情報化推進 （業務効率化）事業	業務のデジタル化を推進するため、AI・RPA・マイナンバーカードを活用したシステムの共同利用や経費削減等の情報共有・検討を行い、「業務改善・業務効率化」「住民サービスの向上」につなげる。 データの利活用や施設の予約システムなどの共同利用を推進する。	基本的には、それぞれで負担となるが、共同調達できるものについては、館山市が支払い、協議の上、負担金として南房総市に請求する。	Webフォーム作成システム（LoGo フォーム）の共同利用について、サービス提供事業者を交えて検討を重ねた結果、令和 5 年度より共同利用を開始することとした。	0	0 0	0	0 0	0	0 0	フォーム作成・集計サービス（LoGo フォーム）の共同調達	1,202	601 601	1,202	601 601	0	0 0
			事業 15～17	（落着見込）小 計	935		935		0		（当初予算）小計	2,523		2,523		0	
				（館山市）		935		935		0	（館山市）		1,729		1,729		0
				（南房総市）		0		0		0	（南房総市）		794		794		0